

歩行者保護性能評価方法等の公表

歩行者保護性能評価・総合評価方法(案)

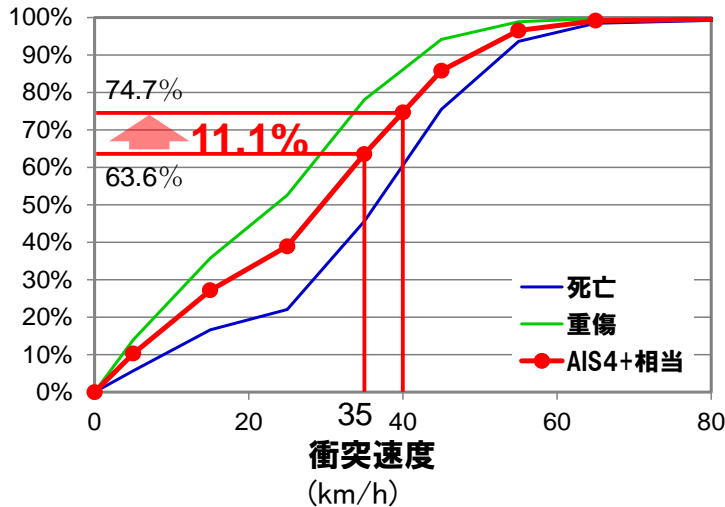
年度	歩行者保護個別評価					総合評価			
	色分け表示	レベル分け		頭部 脚部 比率	総合 得点 表示	歩行者 得点 補正	5★責任点		頭部 脚部 比率
		頭部	脚部				頭部	脚部	
2016 ～ 2017	得点 補正 しない	新 5段階 評価	5段階評価 (基準強化 に伴い 5段階化)	改正後の評価 方法で公表 (補正しない)		得点 補正 する	補正後の 得点で 2.92点 (現行5段 階評価の レベル4)	補正後の 得点で 2.67点 (現行4段 階評価の レベル3)	75:25
2018 ～	得点 補正 しない	新 5段階 評価	5段階評価	80:20	得点 補正 しない	得点 補正 しない	(別途検討)		80:20

2. 提案の根拠

①アセス改正内容

<頭部>

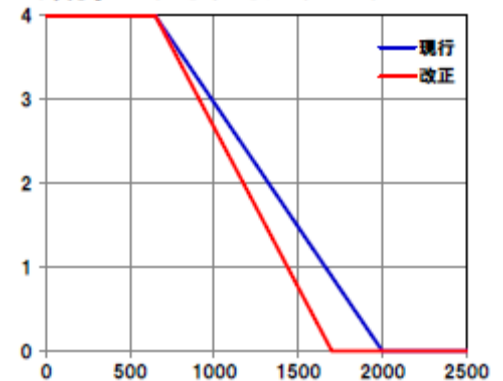
累積事故件数



1. 評価速度アップ
35→40km/h
→事故時カバー率向上

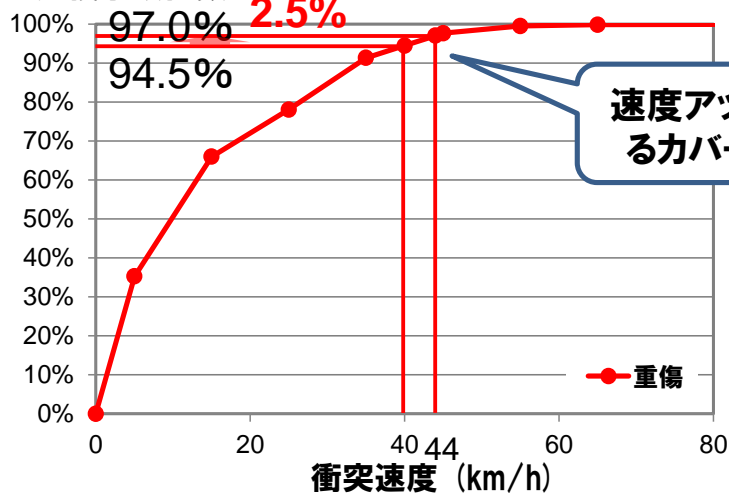
2. 上限傷害基準値変更
2000→1700(-15%)

頭部スライディングスケール



<脚部>

累積事故件数



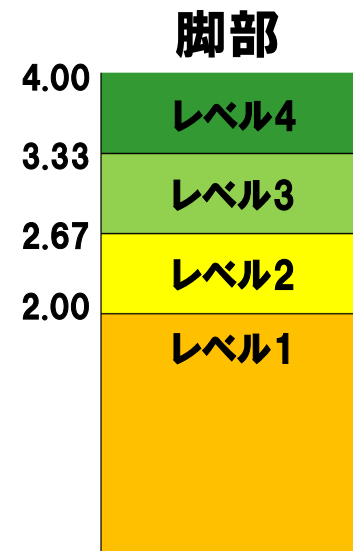
速度アップによる
カバー率小

速度アップせず
理由・カバー率向上小
・低速での傷害増加

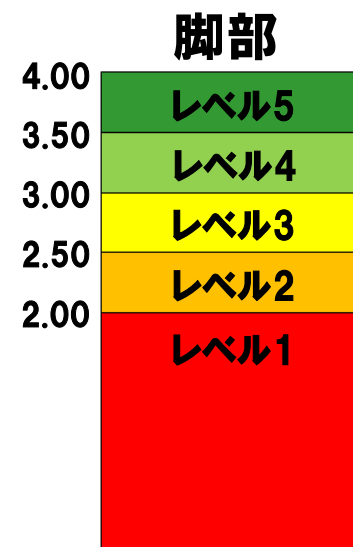
傷害基準値変更
上下限-10%

頭部・脚部レベル分け

～2015年度

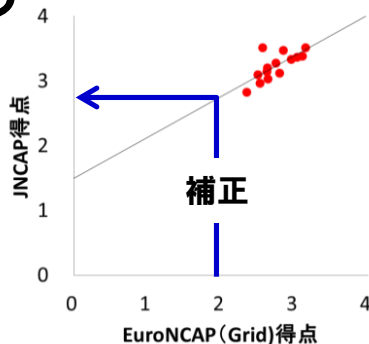


2016年度～



総合評価得点補正 (2016~2017年度)

2018年度からの大幅な衝突安全評価法見直しまでの2年間(2016~2017年度)、ユーザーの混乱を防ぐための性能表示の継続性の観点から、同一性能車種の得点が従来と同等となるよう、2016年度からの改正試験・評価法での得点に対し以下の補正を行う

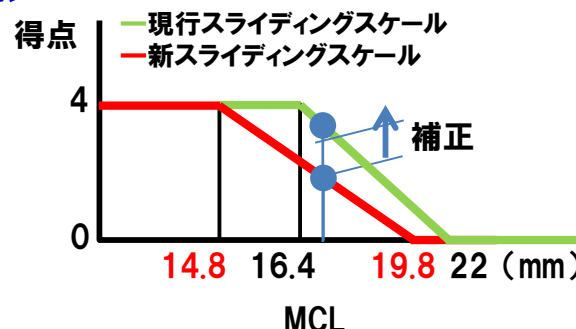
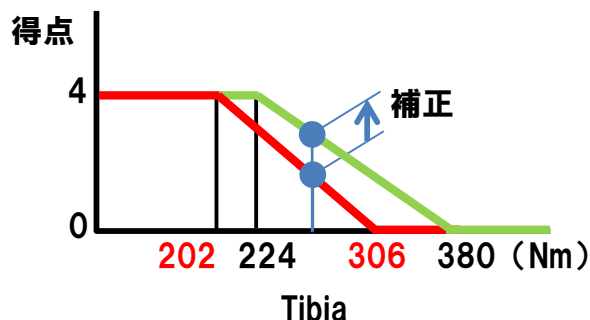


頭部得点

同一車種での現行JNCAP方式とGrid方式の得点間の相関関数を用いて補正を行なう

$$\text{JNCAP得点} = 0.6297 \times \text{Grid方式得点} + 1.4957$$

脚部得点



試験条件は変化がないため、各基準値を得点化する際に補正を行なう

頭部・脚部比率

2016~2017年度の間は頭部と脚部の比率を75:25として総合評価用得点を算出する。

総合評価5★責任点 (2016～2017年度)

補正した得点を用い、5★責任点は2015年度までと同一とする(2015年度までのレベル分けにおける頭部レベル4(5段階)、脚部レベル3(4段階))

新試験法で試験実施、新評価法で得点算出

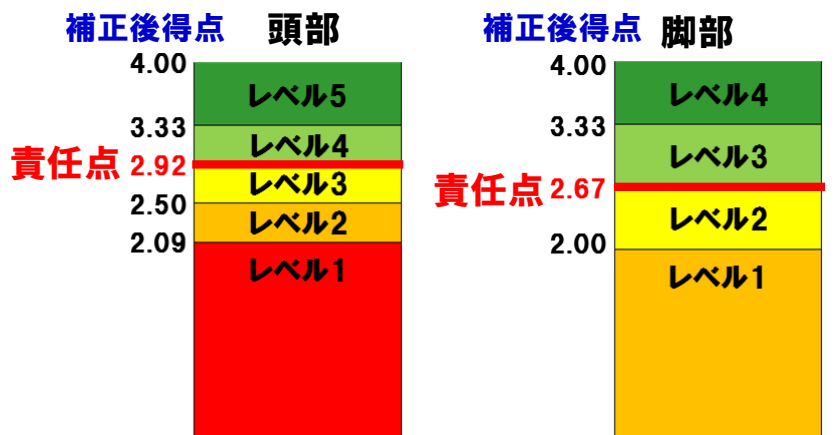
- 頭部: Grid試験法(40 km/h)、スライディングスケール強化(傷害値上限)
- 脚部: スライディングスケール強化(傷害値上限・下限)

総合評価

歩行者個別評価

得点を補正

算出した得点と新しいレベル分けで評価



～2015年度までのレベル分け